

横内敏人
高松 伸
松本 正
後藤直子
橋口新一郎
木村吉成
+ 松本尚子
竹口健太郎
+ 山本麻子
中村公治
小田裕美
國吉公一
梅原 悟
鳥野良子
岡田良子
角 直弘
志村公夫
北條 誠
中西ひろむ
宗本晋作
矢部直輝
荒川晃嗣

哲

2023年9月7日(木) - 10日(日)

京都文化博物館別館 入場無料

10時 - 18時(最終日は17時まで) / 京都市中京区三条通高倉西入釜屋町48

手



学

京都・建築家のしごとと展

その手法と哲学

法

松木一恭
関谷昌人
奥野八十八
田所克庸
中田光輝
尾方夏子
萬野光雄
原田 稔
長谷川 涉
長坂大
新井清一
波多野 崇
松村佳久男
池井 健

ごあいさつ

日本建築家協会は、建築の設計監理を専業としている建築家の集まりです。そう説明してもピンと来る方は少ないかもしれませんが、クライアント側と工事会社の中間の位置に立って、できるだけ公平に仕事をすることを私たちの大きな役割だと考えています。時にはクライアントにも意見をし、工事会社にもしつかり目を配って協働していく、その中で、自分たちが美しいと考える建築を実現するために、日々働いています。

今回の展覧会では、住宅、公共建築、商業建築、医療建築、伝統建築、まちづくりなど、いろいろな仕事に携わっている京都のJIAの会員の仕事のプロセスや手法に焦点をあてた展覧会となっています。京都という地域の中で、クライアントの期待に応えながら、地球や地域の公益的なテーマに向かい合っている建築家の仕事はどういうものか、少しでも肌で感じて、共感していただけたら幸いです。

(公社)日本建築家協会近畿支部
京都地域会 会長 岡田良子

後援:
京都府、京都市

企画:
(公社)日本建築家協会近畿支部 京都地域会
作品展ワーキンググループ

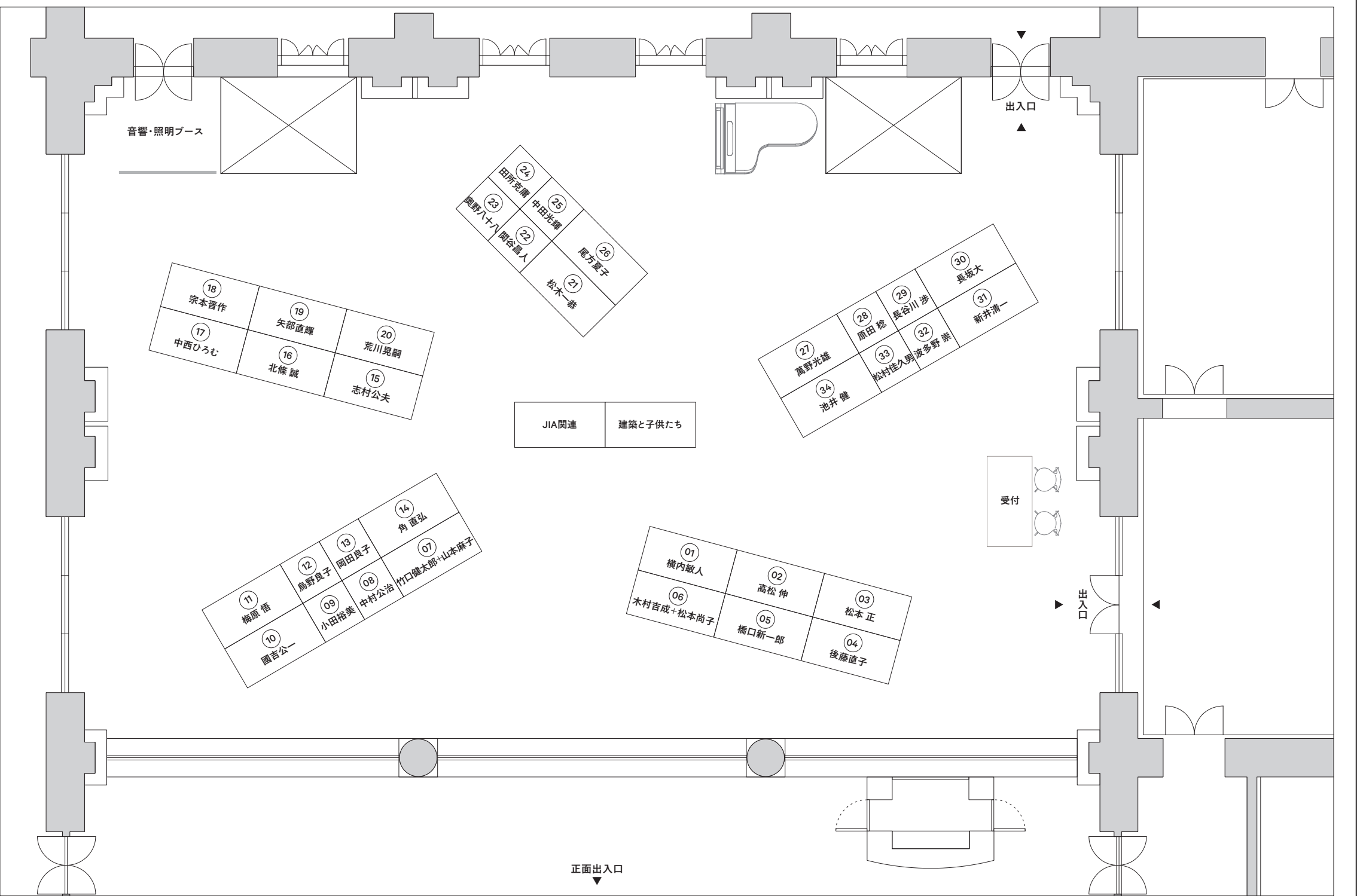
実行委員長:
関谷昌人 (PLANET Creations 関谷昌人建築設計アトリエ)

委員:
梅原 悟 (UME architects 一級建築士事務所)
岡田良子 (SpaceClip 一級建築士事務所)
奥野八十八 ((株)アトリエアトリエアトリエ一級建築士事務所)
角直弘 ((株)一級建築士事務所 設計組DNA)
矢部直輝 ((株)インクスデザイン)

会場構成:
梅原 悟 (UME architects 一級建築士事務所)

プランケット編集:
竹内 厚

デザイン:
北原和規



28

原田 稔
Ryoko Okada

1 幼少期は田舎住まい、その後一人暮らしをするまで、袋小路に面して向い合って建つ古い2階建ての4軒長屋に住みました。その2つの場所には人が集まって住む小さなコミュニティがあり、その一体感と安心感が好きです。人が集まる場所に村ができて街ができて都市ができて。そこで人の営みとつながりを大切にしています。

2 自宅近くの大字山によく登ります。山の山からは京都の町なが一望でき、少し空気の霞んだ日には御所や社寺の緑が浮島のように見えます。雲の低い大晦日の夜に登ると、あちこちから聞こえる除夜の鐘の音の輪響を聞くことができます。四季を通して色々楽しませてくれる場所です。

株式会社 地域計画建築研究所 (略称:アルパック)
京都市下京区四条通西高倉西入丸立西門前82番地
https://www.arpak.co.jp

27

萬野光雄
Mitsuuo Manno

1 クライアントの話をたくさん聞くことです。完成してから「使いにくい」と言う方がいますが、それは住み方や使い方が建築家に伝わっていなかったからです。たくさん日常の話をしてください。私たちは多くを聞いてデザインへのヒントにしたいです。建築家ってかっこいいなと思ったのは、高松伸先生の「鑑賞」を見た時の感動です。建築ってこれなんだ。その時は真夜中で、建築の入り口から中を覗き込んだだけですがハハハハ。

2 大字山からの京都の風景ですね。富士山をはじめとして「山は登るものではなく眺めるもの」と言う人がいます。その通り、山の輪郭や季節ごとの表情は美しいです。しかし京都の観光に一区切りつた方、京都に慣れてきた方、銀閣寺から山頂を目指してください。「大の字のテラスから京都を見る」オススメです。

株式会社 萬野光雄建築設計事務所
京都市伏見区深草大谷安信街55-1
https://manno-architect.com
@mankichi

31

新井清一
Seiichi Arai

1 Los AngelesのSCI-ARC (南カルフォルニア建築大学)に1978年、まだ日本人で海外留学が盛んでない頃、日本から飛び出し留学。そしてMORPHOSISにて建築に接し始めたのが自身の中で真の建築をエンジョイし始めた。そこで得た経験、接した人たちと共に、ロシア、アルメニア、中国、多くの海外のプロジェクトもそこから生まれました。

2 やはり京都にいる時の時間の大半を費やしている、松ヶ崎のA-bandsビルの空間。自身創造した空間の中で、家具類に囲まれ、収集したものに触れているのですから。

ARAI ARCHITECTS 一級建築士事務所
Tokyo office : 東京都渋谷区南平町2-5
Kyoto office : 京都市左京区松ヶ崎小島町1-12
「新井清一」で検索

29

長谷川 涉
Wataru Hasegawa

1 クライアントの願いや暮らしに根ざした「なつかしい」未来を感じていただける空間を作り出したいと思っています。また、より良い未来のために、その空間は「うれしい場所」となり、暮らしや営みの日々は「うれしい時間」となる設計やデザインで役立ちたいと考えています。

2 あるお店や場所で、少し離れた席に人がいたり、隣の人と話していくと共通の友人がいて繋がっている感じが完成させること、つまり単に依頼者の要望に応えるのではなく、専門性を生かした提案をすることが大切だと考えています。

長谷川ワタル建築研究所
京都市中京区御幸町通池上る亀屋町376番地
http://www.whats-kyoto.com

32

波多野 崇
Takashi Hatano

1 例えば、旅行から帰ってきたときに「やっぱり家が一番だな」と心から思ってもらえるような家をつくりたいと思っています。建築はクライアントのライフスタイルと趣味、楽しみや夢を具体的に反映するものであると思います。色々なことを語り合い、共に考えながら、愛着の持てる、上質でシンプルな建築を設計していきたいと考えています。

2 京都御苑内の迎賓館の西側にある自然豊かな「バツガ原」です。良く晴れた日に、近くの山崎商店街でパンと珈琲や豆餅などを買って行き、のんびりしながら植物を観察したり風景写真を撮ったり、慌ただしい日常を忘れて森林浴ができる中のアシスです。

A.C.E.波多野一級建築士事務所
京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町538
https://acehatano.jp
@acehatano
acehatano

32

29

長谷川 涉
Wataru Hasegawa

1 クライアントの願いや暮らしに根ざした「なつかしい」未来を感じていただける空間を作り出したいと思っています。また、より良い未来のために、その空間は「うれしい場所」となり、暮らしや営みの日々は「うれしい時間」となる設計やデザインで役立ちたいと考えています。

2 あるお店や場所で、少し離れた席に人がいたり、隣の人と話していくと共通の友人がいて繋がっている感じが完成させること、つまり単に依頼者の要望に応えるのではなく、専門性を生かした提案をすることが大切だと考えています。

長谷川ワタル建築研究所
京都市中京区御幸町通池上る亀屋町376番地
http://www.whats-kyoto.com

33

松村佳久男
Kakuo Matsumura

1 圧倒的なわかりやすさ。それが弊社が得意とするVR設計(ヴァーチャリアリティ)です。時代と共に、VR技術は目覚ましい進化を遂げています。高解像度の視覚的表現によって、感情の動きやニュアンスを共有し、高次元のコミュニケーションを可能にしています。お施主様にVRゴーグルを装着頂き、設計中のバーチャル空間を「経験」して理解して頂くことで、上質な空間の実現へと導きます。幅、奥行、高さ、素材感、光と影のバランス、空間の快適さ全てが上質です。

2 サウナです(笑)。京都のサウナ好きな順番で書きます。「黒蓋 森のサウナReplus (完全予約制)」「上七軒 町屋サウナ Sayoka (完全予約制)」「真川 美ようご湯 なかま (完全予約制)」「宇治 源氏の湯」「水香 松山山手」「五香湯」「白山湯」「ルーマプラザ」「仁左衛門の湯」。忙しくても楽しく元気に仕事が出来ているのは、サウナのお陰だと思います。完全にハマってますね(笑)。お施主様、スタッフ達と共に「仕事を遊ぶように働く」。一番の働き方改革だと思っています。

一級建築士事務所
株式会社カクオ・アーキテクト・オフィス
京都市下京区高辻通西院西入ル永興寺前町237-19
https://www.kakuo.jp
@kakuo_m (個人) @kakuo_ar (事務所)
@kakuo_ar

33

30

長坂 大
Dai Nagasaka

1 建築家はシェフのようであり、医者のもようであり、弁護士のもようであり、画家のもようであると思います。依頼者の知らないおいしい料理をつくり、依頼者がわからない原因を察知して適切な対処法を示し、不安を抱えた依頼者の法的権利を守り、依頼者が潜在的に願望する絵を完成させること、つまり単に依頼者の要望に応えるのではなく、専門性を生かした提案をすることが大切だと考えています。

2 京都の中の好きな場所は、何となく「山裾」です。背後に山腹のある場所が多いのは盆地の特長です。曼珠院、詩仙堂、銀閣寺...。数々の名刹は、山裾を魅力的な境内、魅力的な庭に変えています。もう一つ、京都は「川線」も楽しい。鴨川や桂川、その他有名無名の細水脈はこの街に大きな潤いを与えています。時々「山裾」と「川線」を生かして楽しい場所にしなくてはならない」と考えています。

Méga
京都市左京区高野清水町71
https://www.mega71.com

34

池井 健
Naoki Yabe

1 小さいころからモノづくりが好きで、自分の好きなように大きなものをつくることのできるという単純な理由で建築設計の道に進みます。実際には自分の思うように建築をつくることは様々なハードルがありますが、プロジェクトに関わる多くの人達と協力しながらそれらのハードルを乗り越えていけるようになってきました。

2 京都に住んで今年で27年、今の家が7件目の家になりますが、京都の街はとても奥が深くて色々な意味で金を把握することはとても難しいなと感じています。そんな中でも、もともと大阪京都本線の始発・終点であり、今は特急も止まらなくなりました。四條大宮の飲み屋街が世界で一番好きエリアです。

一級建築士事務所 株式会社池井建築設計事務所
京都市中京区下瓦町556番
https://ikei-archi.com

34

1 仕事で一番大切にしていること、あるいは建築の道に進んだ理由

2 あなたの好きな京都について



北條 誠
Makoto Hojo

1 「建築は小さなまづり」これが私の基本姿勢です。建築は単なるモノづくりではなく、新たな社会環境・生活空間を創造していくことであり、地域社会の歴史・文化・環境・暮らし・人間関係を紡いでいくことだと考えています。建築家は、単なる思い付きや目新しきだけでデザインするのではなく、事業企画力、マネジメント力、コーディネイト力、感性・発想をベースとした造形・技術力を総合的に組み立てる幅広い見識と経験が求められています。

2 京都嵯峨野に住んで70年が過ぎた。鎌倉から嵐山を背景にした嵯峨野の田園風景は、時代の流れとともに宅地開発が進み風景は一変した。しかし、嵯峨野山の手山並みや有名人寺仏閣は、とりわけ私の心に入り、渡月橋から眺める四季折々の表情を愛する大堰川、小倉山の景色は心休まるひと時を与えてくれる。

株式会社 都市居住文化研究所
京都市中京区西五条二条下ル秋野町4町518番地
前田エヌビル6階
都研アトリエ
京都市右京区嵯峨鳥居本小坂町2-7
http://www.touken-ko.jp



志村 公夫
Koichi Kuniyoshi

1 子供のころ絵を描くこと、船や模型飛行機、グライダーを作るのが好きでした。高校の時、建築の設計がしたいと思い進路を決めました。大学の時、福井県の三國港の江戸時代から残る町家の調査をして木造建築の技術力の高さ、生活に対応した間取と空間構成を学びました。現在京都市に事務所がありますが、市内の京町家や寺社などの伝統建築のすばらしさに学ぶことが多いです。設計では、敷地の立地条件、歴史、周辺環境の条件を考慮し、建築の最適な構造と設備を取り入れ、日本の伝統に配慮した設計を心がけています。

2 嵐山の周辺と天龍寺、大河内山荘、昔私が調査をした伝統建築の名作宝蔵院。京都大学の西の清風荘、名工上坂漢次郎による建築と小川治兵衛による庭園。私が改修を手掛けた、西陣の京町家、京料理店、西陣ゲストハウス正産など。

一級建築士事務所 志村建築設計事務所
京都市中京区御池西河原東入堀之内741-3
1F-2F 上田御池ビル9階
http://www.sekkei-oniyone.jp



矢部直輝
Naoki Yabe

1 社会にはデザインされたモノが無数に溢れています。でも中で空間(建築)は唯一、物理的に人を包み込むことができる表現かもしれません。天山の状況に影響されるのですが、その面白さに魅かれ続けようと思っています。

2 古くからという言葉をよく耳にします。でも考えてみると、その衣食住の生活文化や、そのための空間構成は本来無かったものが産み出され継がれています。そこには長い時間の中で継承しながら、変えていく力強さを感じているのだと思います。そんな古くて新しい街に魅了されています。

株式会社 イン・エクスデザイン
京都市左京区高野泉町4-59
http://in-ex.jp



荒川 晃詞
Koji Arakawa

1 中学3年生の時、将来なりたことを書く(英作文で、アーキテクトになると書いたことが事の始まりでした。

2 鴨川の川敷。こを歩く(雰囲気は、恐らく昔も今も同じ)と思います。

有限会社 テクトスタジオ
京都市下京区宮近道松原下町48
https://www.tect-cs.jp
@tectstudio
@テクトスタジオ 一級建築士事務所



田所 克庸
Katsunobu Tasho

1 人々の営みや環境や日常に対して、建築がどのように関係するべきなのか、行先表示のない切符を片手に旅をするかのように設計活動を楽しんでいます。奇想と偶然の出会いを繰り返しながら、思ってもない場所へと辿り着くような感覚を大切にしています。

2 鴨川(賀茂川)が好きです。若者男女それぞれが、散歩やダンスや昼寝や楽器を奏でたり、取ったり、おらから自由な空気が氷の流れに沿って北から南へ数キロも続いています。犬や鳥や魚や色々な動物も楽しそう、そんな幸せな日常の風景に知らず知らず惹かれています。

田所克庸建築設計事務所
京都市下京区西馬場町25番ビル401
http://t-tasho.com

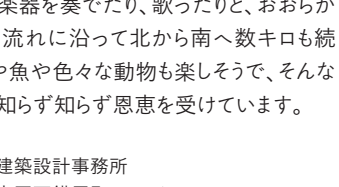


奥野 八十八
Koji Nakamura

1 ほんとうは大工さんになりたかったはずなのですが、設計もできる大工さんになろうと思ったのがその理由で、設計だけでもまだ遠征。大工修行に到達できる日が来るとは到底思えないのが寂しいというか、心残りというか。

2 クリスマスの増築が終わり、お正月の賑わいがやってる前の年末までほんの5日間。京都の街が本来の静けさと落ち着いた空気を取り戻し、素に還る瞬間があるような気がして、その年末の空気感が好きです。ここ3年くらい、ずっとそんな感じだったので勝手に嬉しいけど、街は再び賑わってきていますね。

株式会社 アトリエ・ブリコラージュ 一級建築士事務所
京都市北区薬師野町南所16-2-403
https://www.atelier-bricolage.net
@atelier_bricolage_88

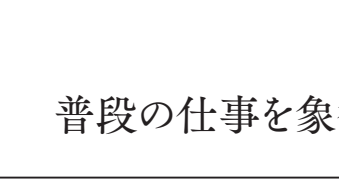


尾方 夏子
Natsuko Ogata

1 世界情勢やITの発展など、私たちの取り巻く環境は日々変化しており、住環境においても変わりゆく時代に柔軟に対応する必要があります。一方で昔から伝えられている伝統や文化は、歴史があり変わらずにあり、そして私たちへの知恵があります。これらの両方をバランスよく組み合わせることで、これからの未来を築いていけたらと思います。

2 新選組ゆかりの地。事務所が生徒にあり、毎日壬生寺さんや旧前川などを見えていますので、とても身近に感じています。落ち着いた雰囲気、比較的静かにゆっくり観光できる穴場スポットだと思います。

株式会社 エスター 日菜設計室 一級建築士事務所
京都市中京区壬生糺御所町50
https://info/hina-a-s.com
@hina_architects



関谷 昌人
Masato Sekiya

PLANET Creations 関谷昌人建築設計アトリエ
京都市左京区吉田神楽町33-1
https://planet-creations.jp
@masato_sekiya



宗本 晋作
Shinsaku Munemoto

1 人が建築や空間の何に惹かれるのかが、なぜ惹かれるのかに関心があります。建築のプランニングからディテール、色までを決める過程は、広い領域に渡る人からデザインを確立する概念を抽出し、建築と人の「親和性」を自然に高める方法を模索しています。また敷地の近い遠いに関係なく、パフォーマンスをできるようにすることについて、周辺環境を仮想しに用意し、計画建物を可能な限りリアルに表現しながら取り組んでいます。

2 臨濟宗大本山南禅寺の重要文化財三門上で、歌舞伎「楼門五三郎」の石五右衛門が三門の楼から満開の桜を見た時に言った「絶景かな。絶景かな」を唱え思い出される(笑)。

株式会社 宗本晋作建築設計事務所
京都市上京区天神口通河原町東入堀町122-2
京都ドルトンビル2F
http://www.smaoj.jp



中西 ひろむ
Hiromu Nakanishi

1 街や建築は、いつまでも完成しないのが面白いと思います。時代の流れに逆らわず、それでも少しも良いものに変わらぬように意識しています。

2 哲学の道。京都は常に傾斜しているはずなのに、この跡水は北側に流れていて不思議に感じます。自然、環境、土土、それらが人の感情に与える影響など、考えさせられます。

中西ひろむ建築設計事務所
京都市中京区西粟田町563奥ビル304
https://www.hiromu.com
@hiromu_nakanishi

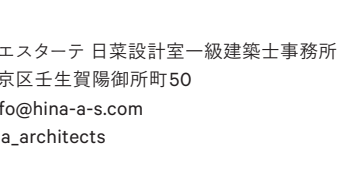


松本 一恭
Kazuyasu Matsuiki

1 京都で大工の息子として生まれ、小さいときからのづくりが好きで、畳付けも自分でおこな、優れた道具も木をきざりました。その経験で自然に寄り添って生きている心育ち、自然と人へ大切に考え、自然と調和した幾つもの技術やデザインにより持続可能な空間づくりをします。その空間はここより、四季折々の自然環境を取り込み、くつろぎやすさを演出します。

2 桂離宮、修学院離宮、大徳寺、路地、庭と建造物が人間そのものである哲学ある空間が京都にはあちこちにある。それは、建造物のために庭があるのではなく、庭のために建造物があるのもない。人間といたまものためにあるのだと感じる空間が京都にはある。

株式会社 京都空間研究所
京都市中京区御池西河原東入堀之内741-3
https://spacelab-kyoto.com



岡田 良子
Ryoko Okada

GENETO studio kyoto
京都市中京区錦小路通小川西入吉本町466
吉川ビル3F
http://geneto.net
@geneto_studio_kyoto.tokyo



角直弘
Hiromi Oda

1 何を美しいと感じるかは人それぞれですが、美意識をもって行動することは、自分がどのように生きていかを考えた、理想を実現していくことにつながります。建築はその基礎を築く場所だと思っています。

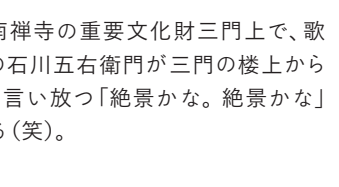
2 大阪市の下町出身ですが、大学時代の岩倉に住みはじめ、その山の近さ、緑に多さに圧迫感を感じていました。ところが、しばらく住むと大阪の緑の少なさ、山の遠さが気になりました。気づくと京都の自然に囲まれた環境が身に沁みついていました。ただし歴史、文化、風景、その重層性について、その真髄を理解するのは、永遠にないかなと思っています。

株式会社 一級建築士事務所 設計組DNA
京都市下京区高倉通小路上ル竹屋町393-5
https://www.den-nen.com
@dna_architecture_realstate



SpaceClip 一級建築士事務所

SpaceClip 一級建築士事務所
京都市下京区新町通松原下ル富永町107-1
GROWING BASE 35号
https://spaceclip.jp
@ryokoOkada

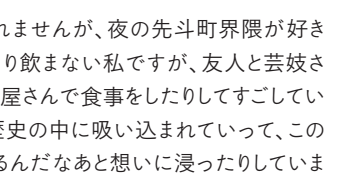


中村 公治
Koji Nakamura

1 街や建築は、いつまでも完成しないのが面白いと思います。時代の流れに逆らわず、それでも少しも良いものに変わらぬように意識しています。

2 哲学の道。京都は常に傾斜しているはずなのに、この跡水は北側に流れていて不思議に感じます。自然、環境、土土、それらが人の感情に与える影響など、考えさせられます。

株式会社 宗本晋作建築設計事務所
京都市上京区天神口通河原町東入堀町122-2
京都ドルトンビル2F
http://www.smaoj.jp

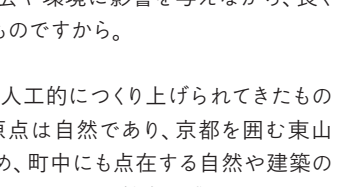


関谷 昌人
Masato Sekiya

1 建築は住む道具だと考えています。道具には明快かつ論理的なシステムが必要です。それが建築のデザインを決定し、かたちづくるのです。ちょっと理屈っぽいですが、人からはよく「楽しそうに仕事している」と言われます。

2 笑われるかもしれませんが、夜の先斗町界隈が好きです。基本お酒はあまり飲まない私ですが、友人と芸妓さんや舞妓さんとお茶屋さんで食事を楽しんでいます。この歴史の中の思い出を思いだして、この歴史の片隅の夜にいたいんだなあと思ったりしています。こんな情緒が京都を支えているのかもしれません。

株式会社 アトリエ・ブリコラージュ 一級建築士事務所
京都市北区薬師野町南所16-2-403
https://www.atelier-bricolage.net
@atelier_bricolage_88

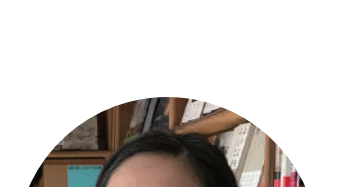


中田 光輝
Mitsuteru Nakada

1 建築を考えるとき、そこにはクライアントの思いや土地の条件、法的な規制などいろいろな要素が絡み合っていますが、より美しいカタチとは何かを追求したい。建築は人を育み、社会や環境に影響を与えながら、長くそこに存在し続けるものですから。

2 京都という町は人工的につくり上げられてきたものですが、そもそもその原点は自然であり、京都を囲む山や北山、西山をはじめ、町中にも点在する自然や建築の内に取り込まれた庭との間取りに魅力を感じます。

株式会社 エスター 日菜設計室 一級建築士事務所
京都市中京区壬生糺御所町50
https://info/hina-a-s.com
@hina_architects

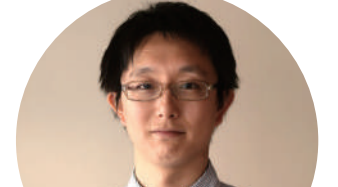


岡田 良子
Ryoko Okada

1 建築はアナログな手仕事の世界で、とても美しい仕事です。クライアントさんも施工も、設計も、みんなが遠慮なく意見を言えて、最後にみんなが、建築をつくり出すことが楽しかったと思えたら、ずっと続けられそうな気がしています。

2 高校生の修学旅行で京都に来た時、店でもなんでもない町家の玄関先が、とてもきれいで感動したのを覚えています。「ちゃんとしている」。そんな印象で京都に住んで20年以上経ちますが、日本の四季や、伝統や人や街がやっぱり「ちゃんとしている」と今も思います。日本人であることが、誇らしくて、好きになれる街です。

SpaceClip 一級建築士事務所
京都市下京区新町通松原下ル富永町107-1
GROWING BASE 35号
https://spaceclip.jp
@ryokoOkada



宗本 晋作
Shinsaku Munemoto

1 人が建築や空間の何に惹かれるのかが、なぜ惹かれるのかに関心があります。建築のプランニングからディテール、色までを決める過程は、広い領域に渡る人からデザインを確立する概念を抽出し、建築と人の「親和性」を自然に高める方法を模索しています。また敷地の近い遠いに関係なく、パフォーマンスをできるようにすることについて、周辺環境を仮想しに用意し、計画建物を可能な限りリアルに表現しながら取り組んでいます。

2 臨濟宗大本山南禅寺の重要文化財三門上で、歌舞伎「楼門五三郎」の石五右衛門が三門の楼から満開の桜を見た時に言った「絶景かな。絶景かな」を唱え思い出される(笑)。

株式会社 宗本晋作建築設計事務所
京都市上京区天神口通河原町東入堀町122-2
京都ドルトンビル2F
http://www.smaoj.jp



中西 ひろむ
Hiromu Nakanishi

1 街や建築は、いつまでも完成しないのが面白いと思います。時代の流れに逆らわず、それでも少しも良いものに変わらぬように意識しています。

2 哲学の道。京都は常に傾斜しているはずなのに、この跡水は北側に流れていて不思議に感じます。自然、環境、土土、それらが人の感情に与える影響など、考えさせられます。

株式会社 宗本晋作建築設計事務所
京都市上京区天神口通河原町東入堀町122-2
京都ドルトンビル2F
http://www.smaoj.jp



松本 一恭
Kazuyasu Matsuiki

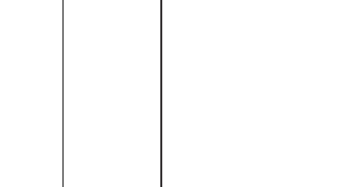
1 京都で大工の息子として生まれ、小さいときからのづくりが好きで、畳付けも自分でおこな、優れた道具も木をきざりました。その経験で自然に寄り添って生きている心育ち、自然と人へ大切に考え、自然と調和した幾つもの技術やデザインにより持続可能な空間づくりをします。その空間はここより、四季折々の自然環境を取り込み、くつろぎやすさを演出します。

2 桂離宮、修学院離宮、大徳寺、路地、庭と建造物が人間そのものである哲学ある空間が京都にはあちこちにある。それは、建造物のために庭があるのではなく、庭のために建造物があるのもない。人間といたまものためにあるのだと感じる空間が京都にはある。

株式会社 京都空間研究所
京都市中京区御池西河原東入堀之内741-3
https://spacelab-kyoto.com



岡田 良子
Ryoko Okada

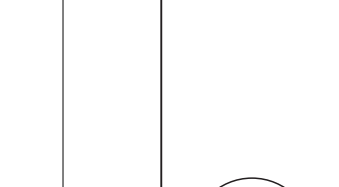


後藤 直子
Naoko Goto

1 プレイスラボという設計事務所名のとおり、建築や人が暮らす場所の持つ特性を意識して仕事をしています。歴史の積み重ねや人々の営みがその場所をつくりだし、それを踏まえて私たちが更新していくことが大切だと思っています。

2 観光客があまりないお寺の境内に行くことと静寂に包まれタイムトリップした気持ちになり落ち着きます。京都には有名なお寺が多数ありますがマイナーなお寺も多数あります。木々のざわめきや小鳥のさえずりを聴きながら散策できるのがおすすめです。

プレイスラボ 一級建築士事務所
京都市下京区新町通松原下ル富永町107-1
GROWING BASE 35号
https://place-lab.com

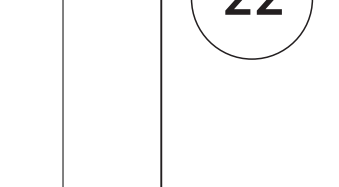


竹口 健太郎
+ 山本 麻子
Kentaro Takeguchi + Asako Yamamoto

1 理論と感情のどちらかが重要なファクターであるところが、空間デザインの興味深く、奥深いところでは。

2 先日久しぶりに桂離宮に行きましたが、プログラムの建築、ランドスケープまでが、動き回る人間の視点に呼应するように完全にコントロールされているのに、感じました。

株式会社 アルファヴィル
京都市右京区西原上花田町32
https://a-village.net
@alphaville_architects

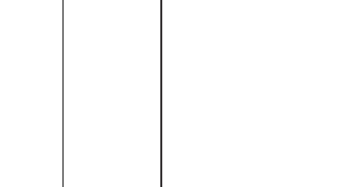


中村 公治
Koji Nakamura

1 なかなか難しいのですが、お客様はもちろん、関係する人も含めたいような関係で建物ができること、素晴らしいですね。完成後とても思い出があるよう、ご一緒の人が集まり、またまた出かけた材料やその時に生まれた発想、そんなものが総合したもの、作って終わりではなく、建物と共に経年変化を楽しむ。何十年後になって良かったと思えるように。

2 オススメは花野の美山荘さんです。人里離れた渓流と緑に囲まれた美しい場所ですが、雅な京都の気品がある場所。昔、父が白洲正子さんとともに素朴な民藝が合うと合気な口論したと聞きますが、そのようなせめぎあい面白い。

中西ひろむ建築設計事務所
京都市中京区西粟田町563奥ビル304
https://www.hiromu.com
@hiromu_nakanishi



梅原 悟
Satoru Umehara

1 建築って、街の風景を形成する重要な要素。それを生み出す職業、建築家であることが日々楽しい。

2 生まれも育ちも京都なので意外と分らなかったけど、大学卒業後、ヨーロッパに10年以上住んだ経験から、改めてその特徴にいろいろ気付くことが多い。特に、歩いていくときの何気ないスケール感・距離感がとても印象的で居心地が良い。

UME architects 一級建築士事務所
京都府向日市瑞冠町一丁目4-25
http://ume.me
@UME architects



鳥野 良子
Ryoko Uno

1 小学校に上がるまではほぼ毎日毎朝祖父の作った庭で朝から晩まで遊んでいました。ある時は大きな石の上、木の土、縁の下、畑に穴をたくさん掘ってビニールを敷き、通路でついでに傘かける…基礎づくりに没頭する日々でした。仕事ではその場所どう構える人と環境が最も関係が作られそうか考えますが、環境と人の接点を模索する作業は子供の頃やっていたこととあまり変わっていません(笑)。

2 京セラ美術館の庭。岡崎公園開園の賑わいの一休みに立ち寄りしていました。美術館がリニューアルされて今は主役のような構成になりましたが、以前は人も少ない静寂な空間で、それでいてきれいに管理されていたので大層とて愉しんでいました。あとは開通寺。建物の柱や軒先から始まり、庭の強い水平性、速いのに杉の垂直性と優しい紅葉、その中央の比較山。学生の時期初めて見て、その抽象的な美しさに感動を受けました。

鳥野建築設計室
京都市中京区東区225第二ふや町ビル402
https://www.uno-ryoko.com/
@uno_ryoko



松本 正
Tadashi Matsumoto

1 映画好きでしたが、映画方面では食べていけないようになったので、若尾文子さんみたいな綺麗な女優さんときめかせる職業ということで建築家を志し、黒川紀章先輩が卒業した京都大学建築学科に入りまし。女優さんはいまだに会えません。食べてもいけません。

2 事務所の近くに「六角堂」があるので、時々スタッフに見つからないように仕事をサゲって、六角堂を眺めながら風ビールを呑んでいます。

1級建築士事務所 有限会社キアラ建築研究機関
京都オフィス(本社)
京都市中京区御池通小路土庫小路10番屋敷530
高麗ビル2F
http://www.kyara-arc.com



高松 伸
Shin Takamatsu

1 描く、とくに描く。ひたすら描く。数十枚、数百枚、時に小さな住宅のために千枚を超えることもある。描きまくったからといって、これとはいったアイデアに辿り着ける保証などない。往々にしてアイデアは、ある時、突然紙の上に落ちてくる。まずまず納得できた建築は、その突然から立ち上がったものだ。なおかつ不思議なことに、それまでのスケッチの山のどこを挫いても、その片鱗さえ見つからない。とはいえず、その紙の厚みがなげれば決してアイデアが生まれることはないという確信は常にある。

2 新町通りに「大黒」という店がある。精進料理の店ではない。れっきとしたフレンチである。「大黒」はシェフの本名である。15年ほど前になるか…歌舞伎役者のような店主が見得を切るように料理を出すと聞いて、フレンチと立寄って以来来客が半減した。パスタが半端ない。ゆえに、思い切ったイタリアンへの経営替えを宣言したりして、余計なお世話とされる。酔狂で寿司だけを供する日がある。もともとの際には懲りずに脂屋への転職をすすめている。

株式会社 高松伸建築設計事務所
京都市伏見区竹田浄土寺門前町195
https://takamatsu.co.jp/
@shintakamatsu_aa



木村 吉成 + 松本 尚子
Yoshinari Kimura + Naoko Matsumoto

1 高校生の頃、「楽しそう」だから芸術大学に行きたいという動機で、建築はひとに動かれたので選びました。30年と少しが経ち、今も建築をしていますが「楽しそう」という気持ちは変わらずずっと動機です。(木村)

2 「京都一周トレイル北西コース」、京都市の中心から少し北西に、北山杉で囲まれた北山集落がある。そこで循環をテーマにしたものづくりの活動を、アーティストやデザイナーと共同で続けている。昔、杉を頭に担いで街中と往復したルート(の一部)を歩く、市中と周縁との距離感や、体の中に新たに構築される。それは思っていたよりも「近い」。音の車移動とは違った方法で京都の周縁を巡る事で、より立体的な京都の成り立ちを知ることができる。(松本)

木村松本建築設計事務所
京都市北区等持院北門58-11日本野群野部
https://kmrmtm.com
@kimuramatsumoto_architects



國吉 公一
Koichi Kuniyoshi

1 “気持ちの良い建築”を街に置いていければと考えています。建築の設計は、まずはクライアントがいらないと成り立たない仕事です。建築主の要望と土地の環境特性を判断しながら建築の機能とデザイン形態が生まれ、日々現実的な生活の中に建築の美で空間が少しなりとも豊かさをとられていけばいいと思っています。

2 北山通り「セレス北山」という現代のビルを設計し、2-3階の吹き抜け空間に設計事務所を置き20年間使いました。10年近く前に現在の御所の京町家を改修し、「現代を生きる京町家」と謳って設計事務所にしてます。すぐ近くの御所のベンチでスケッチブックにstudyしたり、PCで楽しんだりしていますが、御所の公園はとても心地よい空間です。マンツーマン北山通りと御所の歴史的環境がおすすです。

國吉設計事務所
京都市上京区中立売町通り通東入花町486-2
https://www.kuniyoshi-architect.com

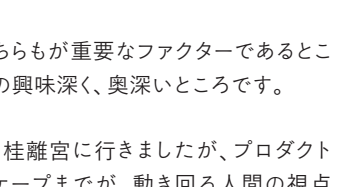


松本 正
Tadashi Matsumoto

1 映画好きでしたが、映画方面では食べていけないようになったので、若尾文子さんみたいな綺麗な女優さんときめかせる職業ということで建築家を志し、黒川紀章先輩が卒業した京都大学建築学科に入りまし。女優さんはいまだに会えません。食べてもいけません。

2 事務所の近くに「六角堂」があるので、時々スタッフに見つからないように仕事をサゲって、六角堂を眺めながら風ビールを呑んでいます。

1級建築士事務所 有限会社キアラ建築研究機関
京都オフィス(本社)
京都市中京区御池通小路土庫小路10番屋敷530
高麗ビル2F
http://www.kyara-arc.com

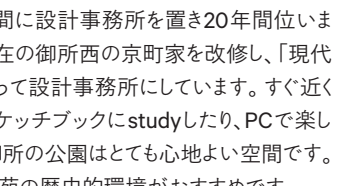


高松 伸
Shin Takamatsu

1 描く、とくに描く。ひたすら描く。数十枚、数百枚、時に小さな住宅のために千枚を超えることもある。描きまくったからといって、これとはいったアイデアに辿り着ける保証などない。往々にしてアイデアは、ある時、突然紙の上に落ちてくる。まずまず納得できた建築は、その突然から立ち上がったものだ。なおかつ不思議なことに、それまでのスケッチの山のどこを挫いても、その片鱗さえ見つからない。とはいえず、その紙の厚みがなげれば決してアイデアが生まれることはないという確信は常にある。

2 新町通りに「大黒」という店がある。精進料理の店ではない。れっきとしたフレンチである。「大黒」はシェフの本名である。15年ほど前になるか…歌舞伎役者のような店主が見得を切るように料理を出すと聞いて、フレンチと立寄って以来来客が半減した。パスタが半端ない。ゆえに、思い切ったイタリアンへの経営替えを宣言したりして、余計なお世話とされる。酔狂で寿司だけを供する日がある。もともとの際には懲りずに脂屋への転職をすすめている。

株式会社 高松伸建築設計事務所
京都市伏見区竹田浄土寺門前町195
https://takamatsu.co.jp/
@shintakamatsu_aa

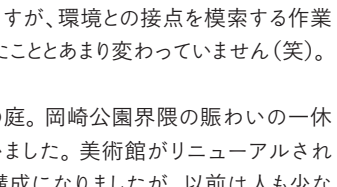


木村 吉成 + 松本 尚子
Yoshinari Kimura + Naoko Matsumoto

1 高校生の頃、「楽しそう」だから芸術大学に行きたいという動機で、建築はひとに動かれたので選びました。30年と少しが経ち、今も建築をしていますが「楽しそう」という気持ちは変わらずずっと動機です。(木村)

2 「京都一周トレイル北西コース」、京都市の中心から少し北西に、北山杉で囲まれた北山集落がある。そこで循環をテーマにしたものづくりの活動を、アーティストやデザイナーと共同で続けている。昔、杉を頭に担いで街中と往復したルート(の一部)を歩く、市中と周縁との距離感や、体の中に新たに構築される。それは思っていたよりも「近い」。音の車移動とは違った方法で京都の周縁を巡る事で、より立体的な京都の成り立ちを知ることができる。(松本)

木村松本建築設計事務所
京都市北区等持院北門58-11日本野群野部
https://kmrmtm.com
@kimuramatsumoto_architects



國吉 公一
Koichi Kuniyoshi

1 “気持ちの良い建築”を街に置いていければと考えています。建築の設計は、まずはクライアントがいらないと成り立たない仕事です。建築主の要望と土地の環境特性を判断しながら建築の機能とデザイン形態が生まれ、日々現実的な生活の中に建築の美で空間が少しなりとも豊かさをとられていけばいいと思っています。

2 北山通り「セレス北山」という現代のビルを設計し、2-3階の吹き抜け空間に設計事務所を置き20年間使いました。10年近く前に現在の御所の京町家を改修し、「現代を生きる京町家」と謳って設計事務所にしてます。すぐ近くの御所のベンチでスケッチブックにstudyしたり、PCで楽しんだりしていますが、御所の公園はとても心地よい空間です。マンツーマン北山通りと御所の歴史的環境がおすすです。

國吉設計事務所
京都市上京区中立売町通り通東入花町486-2
https://www.kuniy